

第 80 回紫友まち歩き

広尾・恵比寿ガーデンプレイスの のまち歩き

厳冬期なので、歩く時間は短くして、特色のあるお店でのショッピングや美術鑑賞を中心にした企画の広尾・恵比寿ガーデンプレイスのまち歩きがスタートしました。うれしいことに今日は暖かく、気持ち良いまち歩きになった。

案内人からの解説を読みながらまち歩きを楽しんでください。

日時： 2018年2月24日(土)

集合時間：14時

集合場所：地下鉄広尾駅で集合

参加者：9名参加（全員男性）

案内人：倉林俊男 014、笠井尚紀 014

懇親会：「しげぞう」

懇親会参加者：8名

歩いた歩数：9,000歩（二人の平均）

<まち歩き>:

■まち歩き行程

有栖川宮記念公園→ナショナル麻布スーパーマーケット→廣尾稲荷神社→祥雲寺・黒田長政の墓→エビスビール記念館→恵比寿ガーデンプレイス→東京都写真美術館から、「しげぞう」にて懇親会懇親会

<スタート>

今回は案内人作成の解説メモと一緒に記載しました。写真を見ながら楽しんでください。

14時に日比谷線広尾駅の改札で集合。1名はすでに有栖川宮記念公園で待っている。

① 有栖川宮記念公園：

歩いて数分で有栖川公園に着く。公園では釣りをしている人が数人。珍しく釣りが許されている。



白い梅が満開で、一番上の梅の白い枝にメジロがちょろちょろ動いていた。ウグイス色なので、ウグイスと間違えた人もいた。（ウグイスの色は、ほんとは茶色）。



広場に新聞少年の像が置かれていた。



極めて価値の高いという有栖川熾仁親王の銅像を見る。



<案内人の解説>もともとは忠臣蔵で知られる浅野家の下屋敷があったところで、その後、盛岡・南部藩の下屋敷になりました。明治に入って有栖川家・高松宮家御用地を経て、1934（昭和9）年に、公園用地として東京市に下賜されたものです。梅園があり、ちょうど見ごろになるのではないかと思います。

② ナショナル麻布スーパーマーケット：

公園前にあるマーケットの2階にまず行く。



絵葉書や恐竜風船などが買われる。

1階の野菜類は少し高めとの評価。

駐車場には高級車が並んでいる。



<案内人の解説>

広尾周辺に多い大使館や外国人ビジネスマンのためにオープンした、ナショナル麻布スーパーマーケット。他では見られない食品などを買うことができます。2階の雑貨売り場も面白く、特に女性には喜ばれることでしょう。

③ 廣尾稲荷神社：

マーケットの裏手を少し歩いたところにある。



一通りの参拝を済ました後、拝殿天井の高橋由一黒龍図を見る。



少しぼけているので一頭の龍が描かれているのが判読できなかった。油絵の技法を一早く取り入れたとのこと。



<案内人の解説>

二代将軍秀忠が、鷹狩りの際、この地に稲荷を移して祀ったとのこと。本殿の天井に描かれた「墨龍図」は高橋由一によるもの。高橋由一（1828 - 94）は、明治初期に活躍した画家で、油絵技法を習得した日本で最初の洋画家といわれています。吊るした新巻鮭をリアルに描いた「鮭」が有名です。

④ 祥雲寺・黒田長政の墓：

しばらく歩く。暖かくて気持ちよい。渋谷にこのように大きなお寺がいくつもあるのにびっくり。



祥雲寺の墓所入り口右手には大きな石碑鼠塚があった。明治32年からの数年間のペスト流行で、予防のため殺された鼠の霊を供養している。



一番奥の方に大名墓地群があり、さらに少し高いところの木造御堂の中に黒田長政の墓が収められていた。



無縁墳墓等改葬の札がある墓もあるのは最近の無人家屋などと同じ傾向のようだ。

<案内人の解説>

臨済宗大徳寺派の寺院。江戸初期に、福岡藩主・黒田忠之が、父である黒田長政を弔うために建立しました。渋谷区を代表する大きな寺院で、福岡藩に縁のある大名家の墓所となっており、巨大な墓石が並んでいます。中でも黒田長政の墓は高さが6mもあり、木造のお堂の中に収められた珍しいものです。

⑤ エビスビール記念館：

広尾散歩通り、渋谷川に架かる新橋を通過して、サッポロビールのエビスビール記念館に向かう。





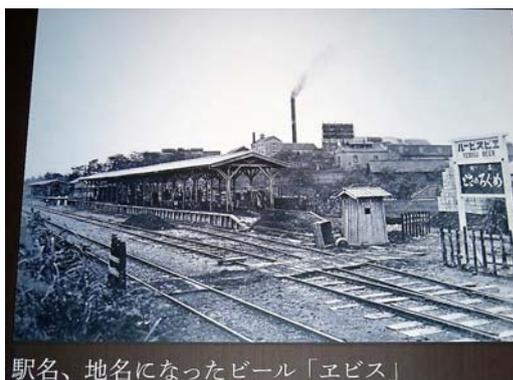
ブランドコミュニケーターの40分間案内により、エビスギャラリー見学。下は最初のビール。



1899年に日本最初のビヤホール（恵比寿ビヤホール）が銀座8丁目に誕生した。



駅名、地名になったビール「エビス」ブランドをPRしてくれた。



駅名、地名になったビール「エビス」

小カップ2杯のビールを飲む。小麦のホワイトビールがドイツでのものを思い出させてくれた。飲んだ回数が線で残されている。



最後においしいビールの飲み方として3回に分けての注ぎ方を教えてくれた。

売店でタイを二匹持つエビスさん（珍しいもの）と一匹のエビスさんの写真を撮る。右側が二匹。



<案内人の解説>

ビールの歴史や科学、ビールがもたらす食文化の楽しさなどを、最新の映像機器や体験型展示で紹介する記念館です。事前に予約したので、美人ブランドコミュニケーターの案内により、面白いエピソードなども聞かせてくれるそうです。有料（500円）ですが、ここでしか呑めないビールを試飲することもできます。

⑥ 恵比寿ガーデンプレイス：

記念館前の「恵比寿三越」を通り抜け、「ワインパーティー」を見学。昔飲んだワインがあったなどと楽しむ人もいた。



<案内人の解説>

高層のオフィスビルや住居棟をはじめ、デパート、映画館、ホール、美術館、飲食店などが入った巨大な複合施設です。まず、全体をさ〜っと見てから、1時間ほどの自由時間をつくりたいと思っています。2,000種類のワインが並んでいる「ワインパーティ」や「恵比寿三越」で買い物するのも楽しいでしょう。

⑦東京都写真美術館：

5時過ぎに美術館に着き、6時まで各自での自由鑑賞時間となる。



上はラファエル・ローゼンダール作。

<案内人の解説>

恵比寿映像祭「インヴィジブル」

恵比寿から世界へ発信する「アートと映像の祭典」で、今年で第10回となります。東京都写真美術館の2階、3階、地下1階の展示場をはじめ、周辺の数カ所でさまざまな展示があります(ほとんどが無料)。正直、さほど面白くないものも多いので、笠井が個人的にお勧めするのは地下1階の「エルガン・オズケン」と「ナターシャ・ニジック&臺丸謙」の2作品です。前者は、言葉を失ったシリアの少年

が、悲惨な体験を身振りだけで訴える衝撃的な映像。後者は、恐山のイタコの語りを軸にしたインスタレーションです。あとは、3階をさっと歩くといいでしょう。

⑫懇親会：

そばのビルの地下に行き、「しげぞう」で懇親会開始。



飲み放題、2時間半だったが、料理もよく、話題も多様でなんと10時過ぎまでの懇親となった。1時間も余分に楽しんだことになる。

<案内人の解説>

ガーデンプレイスの一角、「グラススクエア」に入っている、ちょっと変わったお店「しげぞう」で懇親会を行います。メニューは居酒屋風ですが、かなり大きな空間で、なんだか昭和のキャバレーみたいな造りです。お楽しみに。

お疲れさまでした。